

研究協力のお願について

福井県立病院心臓血管外科では、下記の研究を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、この研究は、福井県立病院倫理審査委員会の審査を受け、病院長ならびに心臓血管外科長の承認を得て行っているものです。

1. 研究の対象

透析患者に対する冠動脈バイパス術の治療成績

2. 研究の目的について

慢性腎不全にはしばしば心血管病変を合併し、特に透析導入後1年以内死亡の約半数は心血管合併症とされています。また、透析症例では、冠動脈以外にも大動脈から頸部動脈、さらに末梢動脈にも石灰化病変を有することが少なくないこと、出血傾向や易感染性、さらに周術期の水分管理が困難なことから、欧米の報告では冠動脈バイパス術の手術死亡は10%を超えているという報告もあります。透析を必要とする患者は年々増加しており、慢性腎不全患者の冠動脈疾患への治療は重要な課題とされています。今回、透析症例を含めた当施設の冠動脈バイパス術の治療成績について、検証したいと思えます。

3. 研究の方法について

2014年1月から2023年3月までの冠動脈バイパス術施行例を対象とします。その際の術前状態（冠動脈病変、心不全の有無、血液データなど）、術中所見、術後合併症の結果を電子カルテのデータから情報収集します

4. 研究期間

承認日から2024年12月31日まで

5. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、画像所見、術中所見、治療経過、カルテ番号

6. 外部への試料・情報の提供・公表

General Thoracic and Cardiovascular Surgeryに投稿予定です。また、中間報告として、第36回 日本冠疾患学会学術集会（2023年11月24～11月25日）に発表予定です。

7. 予想される利益と不利益について

この研究はデータの調査だけを行う研究であり、この研究に参加しても患者さんに直接の利益はありません。

8. プライバシーの保護について

この研究にご参加いただいた場合、あなたから提供された診療情報などのこの研究に関するデータは、個人を特定できない形式に記号化した番号により管理されますので、あなたの個人情報が外部に漏れることは一切ありません。

この研究で得られた結果は学会や医学雑誌等に発表されることがあります。このような場合、あなたの個人情報などのプライバシーに関するものが公表されることは一切ありません。

9. 研究組織

福井県立病院心臓血管外科

医長 鷹合真太郎

科長 西田聡

10. 本研究に係る資金ならびに利益相反について

この研究における使用機材や抗生剤などの使用薬を製造販売している会社（または関連機関）との間に利害関係はありません。

11. 研究への不参加の自由について

試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、2023年11月1日までに下記の問い合わせ先までお申出ください。

12. 研究に関する窓口

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

研究機関の名称：福井県立病院心臓血管外科

研究責任者：鷹合真太郎（福井県立病院 心臓血管外科 医長）

問合せ窓口：福井県立病院心臓血管外科

住所：福井県福井市四ツ井2-8-1

電話：0776-54-5151